

鼓童



- トピックス フランスメディアが伝えたDADAN
- 佐渡のお祭り、全部見るぞ！
- Heartbeat Project 東日本大震災から一年
- 鼓童の表現を支える「食」
- フリートーク 新井武志

シヤトレ劇場のスクリーンに映し出された大太鼓。(写真：岡本隆史)

旅先で、佐渡で、「あたり前の日常」を過ごせることに感謝。

鼓童通信

2012年1月～2月



一／三〇 お世話になったコペンハーゲン公演実行委員会のピーター・マーティン・フォさん（生動太鼓代表）、井上さつきさんと。（写真：坂本雅幸）

旅・ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー

一／二九 デンマーク・コペンハーゲン
海外で唯一、実行委員会を発足し呼んでくれているコペンハーゲン。今回は四年前に出来たばかりの、世界的にも大変評価の高いコンサートホールをほぼ満席にして私達を迎えてくださいました。お昼も日本食BENTOだったりと、心のこもった気遣いを感じつつ、本番に向けてよい緊張感が漂います。今回は初めて、アンコールの前のお客様とのやり取りを今海一樹と一緒に担当しています。毎日違う反応に、一筋縄では行きません。国が違うと反応も全く違うけど、心を込めれば伝わり、また、それが足りなければ伝わらない。それだけが変わらずシンプルであり、太鼓の難しさと、可能性を肌で毎日感じていきます。

二／十二 アイルランド・ダブリン

三六〇度、舞台上に飾られた大太鼓の真後ろまでお客さんが入る劇場で二回の公演と、体験を含めたファミリーコンサートをしてきました。ファミリーコンサートは小田洋介が進行し、私が通訳を務めると言う大役。プレッシャーもありましたが、洋介の世界共通の愉快なキャラクターが子供の心をつかみ、私自身も楽しんで話が出来る、もともと言葉のいらない太鼓と言う楽器に込めている思いを、別の形で伝えられたことを嬉しく思います。
（報告：内田依利）

HANAYUI 花結

二／十一 「ひまわり」(サンノゼ太鼓とのコラボレーション)
アメリカ・カリフォルニア

サンノゼ太鼓の小編成と花結が、十年前にハワイツアーを行った「ひまわりプロジェクト」。今回はその交流の意図を引き継ぎ、かつ企画も新たに、サンノゼ太鼓のフルメンバーと花結に吉利の参加を得て実現。それぞれのオリジナルな演出に加えて、挑戦に溢れたコラボレーションが色鮮やかに舞台上に花開いた。創造を共にしながら、一層の友情と理解を深める貴重な一週間を満喫でき、招聘してくださったサンノゼ太鼓の皆さんに心より感謝します。

二／十六～十九 m u (ムー) 太鼓創立十五周年記念コンサートゲスト出演
アメリカ・ミネソタ

第二回北米太鼓会議(一九九九年)において、初めて花結公演を観てから、ムー太鼓リーダーのアイリス白石さんが、今まで花結に寄せ続けてくれた強い思いが、今回の旅に結実したことを知る。舞台が人に与える影響の大きさを改めて知ると同時に、襟を正す思い、そして是非とも応えたいという願いが改めてわき上がる。公演において、客席の盛り上がり、ムー太鼓が地元で根強い支援を獲得していることを知る。

「花結十吉利」パワーも全開。アンコールの『実り唄』で一緒にお祭り騒ぎとなった

た後には、総立ちのスタンディングオペレーションが待っていた。二二日から、ミネソタ巡業の旅がはじまる。元気にいざ出発！
（報告：藤本容子）

DADAN 打男

二／十五～十八 フランス・パリ

芸術の都、パリのシャトレ劇場での打男公演が実現しました。銀色の衣装に身を包んでの公演、海外のお客様の反応が楽しみでもあると同時に不安もありました。最終日には割れんばかりの拍手とスタンディングオペレーションを頂きました。劇場の空気感やパリのお客様の感性を瞬時に察知して、ためらう事もなく内容を自在に変えていく玉三郎さんの演出は、私たち演奏者の立場から見ても圧巻です。エディット・ピアフの『パダムパダム』を取り入れた新たな演出にもお客様から「パリに対しての素晴らしい気づかいだった」との嬉しいお言葉を頂きました。七月の国内の打男公演が僕らも楽しみです。一段とスケールアップした打男、皆様是非会場に足を運んでください。
（報告：坂本雅幸）

※四ページのトピックスもご覧ください。

SOLO ACTIVITY ソロ・小編成活動

一／十四～二／十二 TAIKO魂CY WITH 鼓童・KODO 太鼓の達人に挑戦！千葉県・千葉市若葉文化ホール 期間中、計七回のWS発表会を栄一・武志・正美の三人で行ってきました。対

トピックス

速報・フランスメディアが伝えた『DADAN』

「Tous les tonnerres DU JAPON」

「日本からの雷鳴」 FIGARO SCOPE フィガロ・スコープ



2009年以来、鼓童として3年振りの公演となったパリ・シャトレ劇場は海外初となる『DADAN』。トラディショナルなスタイルで臨んだ前回から一転し、鼓童が新境地で挑んだ4日間。

構成●洲崎純子、写真●岡本隆史、翻訳協力●福岡由香



「太鼓 メイド・イン・ジャパン」

まるで鼓動の協奏曲、天空のオペラ、シンフォニー。8人と巨大な太鼓が彼らの若いエネルギーを響かせる。儀式と言うにふさわしい、ショーで魂を揺さぶる。

marie france マリーフランス

DATA

「DADAN」

日程：2月15日(水)～2月18日(土)

演出：坂東玉三郎

出演：見留知弘、辻 勝、船橋裕一郎、小田洋介、坂本雅幸、中込健太、前田剛史、草洋介

会場：シャトレ劇場(Théâtre du Châtelet / フランス・パリ)

通常1500席で完売とされる場内は連日200～300人を越え、最終日は1800人を越える満場のスタンディングオペションで幕を下ろした。



鼓童の芸術監督として約25年振りのパリ訪問となった玉三郎さんは、連日ロビーでお客様を迎えられました。演出家ピーター・ブルックさん、女優ナターシャ・バリーさん、オペラ座バレエ団の元エトワール・芸術監督パトリック・デュボンさん、現オペラ座舞踊部門芸術監督ブリジット・ルフェーブルさんをはじめ多数の芸術関係者が来場され、海外においても玉三郎さんが芸術家として揺るぎない存在であることを表していました。

「太鼓がシャトレを揺さぶる」

観客は信じられない様な音とヴィジュアルを発見させられる。それはまるでトランス状態だ。

DIRECT MATIN ディレクト・マタン



「鼓童 DADAN 心の太鼓」

天の儀式のような太鼓の音が私達の深い部分に響き渡り、私達を包み、変貌させる。劇場を出て行く時にはまるで、真実が浮き出たかのように自分が変わったことを感じるだろう。これは地球の力に脅かされた国から来た想像を絶する楽観論のレッスンでもある。

madame FIGARO マダム・フィガロ

「佐渡のお祭り、全部みるぞ！」第二〇回 「春迎えの行事「ハリキリ」」



赤泊地区のハリキリ(張り切り) / 魔除けの札の、「蘇民将来子孫」や五角星形の清明紋は、家内安全や無病息災を願うもの。草履には、昔の人々の暮らしに、とても大切なものだった思いが込められている。

佐渡の冬は、かれこれ十五回くらい味わって
いますが、今年のような寒さと雪の多さを知り
ません。来る日も来る日も雪かきで、気持ち
は湿りがち。陽の射さない暗い色の空を見上げ
てはため息がもれる毎日です。佐渡でこうで
すから、雪国、豪雪地帯にお住まいの方々の今
年のご苦労は如何ばかりかと思えます。

しかし、いつもの雪が雨に変わったある日、
銀世界の中から少しだけ顔を出した地面の色
に、一瞬気分が変わりました。次の季節が来て
いる…そう思えてからは、自然の命が姿を現
す、新しい春を待ち迎える気持ちの高まりが、
この寒さを乗り越える力となつていきます。

立春を過ぎると、佐渡の南部では、道沿いに
新しいワラ草履とお札が掛けられている光景
がいくつかに留まります。佐渡研究者でい
らっしゃる佐藤利夫先生から、この風習は、村
に疫病や悪いものが入つてこないよう、隣りの
集落との境に注連縄を張つたところから、「ハ
リキリ」と呼ばれると教えていただきました。

新しい年の節目でもあつた立春辺りに、その
集落の一年の無事安泰を願つて春の祈禱が行
われ、毎年魔除けの木札やワラ草履が新しく掛
け替えられます。そのことを知つて以来、村ご
とに独自性が表れたワラの造形を、車窓から発
見する楽しみができました。いつも通り過ぎ
るだけのその集落は、どんな生業で成り立つて
きたのか、どんな人柄の人達か、集落のたたず
まいや暮らしぶりに、しばし思いを馳せます。

有名なのは、真野地区倉谷集落の入り口に掛
けられている二メートル近い大わらじ。初め
て見た時「何なんだこれは！」と思つたもの
ですが、「こんな大わらじを履く大男がいてはか



赤泊地区 / 魔除けに玄関口に挿されるシンギョウヨミの枝。春祈禱の後、各戸に配られる。

なわな」と村に侵入してくる悪いものを退散
させようという願いを込めたものを知りまし
た。お伽の世界の話のようでもありましたが、
今も佐渡でこういった類の風習が残っている
のを見るにつけ、自然と共生してきた日本人の
心を教わります。

そのほか、悪いものを呑みこむ意を込めてワ
ラで蛇をかたどつたものを掛ける所や、また羽
茂地区絞張集落は、かつての殿様の愛馬が守護
神とされてきた土地柄で、馬と草履をつけた注
連縄を張ります。この馬には、後ろ足で悪もの
を蹴り上げて退散させる意味が込められてい
るそうです。

ハリキリは、集落にいいことがあつた年も、
残念ながら災いを被つた年も、毎年毎年繰り返
されてきた行為でしょう。ハリキリは「春来」
という字が当てられるほど、これから迎える新
しい一年に目を向けて、村という単位で力を合
わせて生きようという人々の祈りの形です。

(文：千田倫子)



Heartbeat Project 東日本大震災から一年 ～風化させずに向かい合う～

文・構成●後藤美奈子 写真●宮川舞子、関根太鼓店、西田太郎、山口康子、千田倫子、後藤美奈子
Heartbeat Project Logo Design: Haruna Kino



【片付け作業手伝い／気仙沼市大島】

短い時間のお手伝いでしたが、地元の皆さんが日常を取り戻すために必要なことが何かを目の当たりにしました。動ける者は動かなくてはならないのです。



【「また明日」録音】

Heartbeat Project の発信はここから始まりました。昨年12月にはワン・アース・ツアーのアンコールでも演奏。現在もYoutubeで配信中です。



【被災地域での交流学校公演】

7月、11月岩手、宮城、福島の小中学校で公演させていただきました。子ども達をとりまく状況は様々ですが、みんなの明るく元気な姿にこちらが励まされる思いでした。



【アース・セレブレーションでの活動】

(右)紀ハルナさんが描いてくださったこどうくんのキャラクターでの「こどうくん団扇」。売上金はRQ市民災害救援センターへ活動資金として募金させていただきました。(左)期間最終日のハーバーマーケットエリアと「宵のゆんづる」でのキャンドルナイトを行いました。福島県会津産の和蠟燭にお客様にメッセージをかいいただき、佐渡の竹灯籠と組み合わせて会場内を灯しました。



【佐渡太鼓体験交流館での交流事業】

佐渡には今も約100人の方が避難が続けられています。2/19は地元有志の方と一緒に約30人の皆さんを太鼓体験にご招待しました。



【伝統芸能復興支援にむけて】

聞き取りのため5月に伺った陸前高田で「けんか七夕」の山車が運行されると聞き、8月、現地へ再び駆けつけました。

当たり前のことが当たり前でなくなる。昨日までの毎日が続かないことがあること。東日本大震災はそのことを改めて私達につきつけました。

一様に括れない被害と影響の中ではありませんが、二〇一一年の鼓童は「三〇周年記念ツアー」として北海道から沖縄まで全国縦断のワン・アース・ツアーを敢行しました。ご主催の皆さんのご協力もあって、難している方たちをご招待できた公演も多数ありました。また、交流公演では被災地での学校訪問もさせていただきました。日本中どこにいても避難してきている方が

いらつしやることに、この震災の大きさをあらためて痛感しました。

あれから一年。自分たちに何が出来たのか、これから何が出来るのか。

昨年ツアーで公演が出来なかった岩手、福島、茨城の三県にはあらためて九月に公演を行えることになりました。(詳細は次号でお知らせいたします。)

時間が経って、支援の方法も変化しています。現地で足りないことを補い、新しい一歩を応援する。今までと違う生活を余儀なくされている方々が前を向いて進んで行

けるようなお手伝い。太鼓だから、鼓童だからできる唯一無二のことは勿論、鼓童を通してできることも続けていきたいと思えます。

この災害を忘れないこと。伝え続けること。今の状況を発信すること。まだまだ遠い道のりです。

ご報告
岩手・宮城・福島にお住まいの鼓童の会員の皆さんで、ご連絡をいただいた十六名様のお金を一年分無料とさせていただきます。

日本政府主催 「JAPAN NEXTキャンペーン」に参加

鼓童はハートビートプロジェクトの一環として、現在行っているヨーロッパツアーの中で、日本政府が主催する「JAPAN NEXTキャンペーン」に協力しています。

このキャンペーンでは、東日本大震災に対する世界各国からの支援に謝意を表すとともに、“クールジャパン”と呼ばれる日本が誇る文化や技術などを世界に紹介することを通じて、復興へ向かう日本の姿を伝えています。

ドイツ、アイルランド、スイス、オーストリア、イタリア、オランダの公演会場ロビーで、日本文化や震災復興の状況を紹介するパネル・映像展示や日本茶や和菓子のおもてなしを行い、鼓童も太鼓の演奏を通じて日本からのメッセージとして各国に発信しています。



写真上 2/4 ドイツ・ミュンヘン公演／下 2/12 アイルランド・ダブリン公演の様子。どの公演地でも、お客様の日本に現状に対する関心は非常に高いものがありました。

【佐渡島内へ避難されている方々へお知らせ】

3月18日佐渡市小木で行われるたたこ館まつり、第2部「鼓童交流公演」に、佐渡島内へ避難生活をされている方々をご招待させていただきます。詳しくは太鼓体験交流館(たたこ館 Tel. 0259-86-2320)にお問い合わせください。

太鼓でつなぐもの 宮崎正美

聞き手●千田倫子

去年、実際に被災された皆さんの所に行き、太鼓を打たせていただいたことは、私達の心に貴重な体験として刻まれています。家や大切な人を失った方々が、私達の公演を聞きにきてくれる。実際その方々が、どうやって生きて今ここに来てくださっているのか分からないのですが、目の前にその方が生きていてくれるというだけで、この世の奇跡に思え、本当に有り難く感じました。元気づけようなんて、おこがましい。進行役でマイクを持っていたのに、涙が溢れてきて仕方ありませんでした。私達は、太鼓を叩くことイコール自分が生きている証。普段はなかなか意識することはありませんが、その現場にあつては、もうとにかく、自分たちが生きてやってきたこと全てを出す。そうすることでしかなかった、と今振り返って思います。

普段の公演の反省では細かいことが問題

になることもありますが、今回は皆が自然に「もつと持っているものを出せ」とか、「あそこでバテたら駄目だろう」とか、音に込める魂とか思いといった、もつと大きなものを求めています。この公演で皆さんと一つになって、いい空間を作りたい。その一つの方向に音や気持ちが集まったことで、心の余裕、広さみたいなものを共有できていたと思います。太鼓の魅力でもありますが、鼓童はアンサンブルです。力を合わせ、作り上げていく私達の姿を見て元気になってもらえたのかな、と皆さんの反応を見て思いました。

子供達の顔つきは、一生懸命何かを感じようとしていました。自分達はこれからのろんなものを見て、いろんな思いをしながら強く生きていかなければいけないと思っているかのように。また大人達は、本当に大変なことを抱えていらつしやっただろう

に私達をすぐく温かく迎えてくれました。「もう、生きていくしかないでしょ!」と、すぐく明るく振る舞われる姿に人間の逞しさを感じました。

太鼓という楽器はコミュニケーションの道具だと改めて思います。私が一人でポンと向こうへ行ってお話しをするだけで、相手と繋がれたらどうか。そこには間に太鼓があつたから、その音を聞いてもらい、叩く姿で感じてもらえたし、聞いてもらえる姿に私達の心が動きます。一度繋がれた東北の皆さんとの再会をいつもいつも心に願いつつ、鼓童はこれからもずっと旅を続け、沢山の人の魂を込めた太鼓の音を届けたいと思います。

(正美は昨年七月に岩手・宮城・福島での学校公演に参加)



鼓童の表現を支える「食」

～心の豊かさを養う～

あちこちで様々な話が飛び交う、昼食の時間。「同じ釜の飯を食う」。変わらずに続けてきた鼓童のスタイルです。30周年を迎えた昨年の春より、「食」に対する意識を次への段階に進めようとする取り組みが始まりました。活動の中心として活躍する「食生活健康味覚管理部(以下、食生活管理部)」のスタッフに話を聞きました。

文・構成●齋藤美和、松田菜瑠美

当番制の食事作り

鼓童では、長年にわたり、舞台メンバーとスタッフのほぼ全員が、交代で食事当番(通称「食当」)を行ってきました。メンバーが増えるに従い、一班三〜四人体制を組むようになりました。多い時には五〇人分の食事を一時間半ほどで作り、セッティングから片付けまで担当。献立決めや買物も、その日の食当に任されています。「明日、何にしようか」「食べたいもの、作りたいものがある?」「買物物どうする?」

大人数でもあり、料理の得意・不得意もあり、井物が続いてしまったり、献立に偏りが出てしまったりすることもありました。また時間的にも、ツアー前の舞台メンバーは稽古があるため、前日夜に仕込みをしたり、代役を頼むなど、やり繰りが大変な時もありました。

そして、若い世代の味覚低下が問題視される世の中と同じく、味の濃さや旨さの基準といった「食」の問題を、鼓童内でも考えてきました。そこで、これまでの食事当番を改めて見直して見るようになりました。

「食生活管理部」発足

二〇一一年四月より、経験が豊富なスタッフで食生活管理部を組織しました。献立作りや食材選定、調達、調理などを中心に行っています。

単なる当番制の食事作りから、「体を作る」ことを意識した食事作りへ、鼓童の「食」への意識改革に取り組む食生活管理部のスタッフを取材しました。

食を通じた生活の管理(意識改革)

▼松浦充長・調理師の免許を持ち、料理場に入ると料理人魂が燃える、食生活管理部のリーダー。

この取り組みの一番の目的は、「食」に対する感覚のレベルを上げて、演奏者のパフォーマンスの向上につなげることが狙いです。「食」は、身体作りの基本中の基本。個人の身体に直結し、心や感性にも関わり、そして表現にも表れてきます。まず「おいしい」と感じ、味覚、音、菌ごたえ等、全身の感覚や様々な感性を養う稽古の一環だと考えています。

旅に出れば「食」は個人に任せられます。出かけた先で何を食べたら良いか、その時欲している食べ物も様々でしょう。それを我慢するということではなく、佐渡での普段の食生活が感覚的に備わり、好みや欲しているもの、お店でカゴに入れていけるものに変化がみられ、自らが考えてコントロールできる力を身につけるための取り組みです。

献立で気をつけていること(献立作成)

▼高津万理…学校給食の献立作りの経験を活かし、鼓童の「食」の献立作成を担当。心も体も喜ぶ「食」を目指し、新しい献立も開拓中。

全体の献立作りを任されて、初めは難しく考えていましたが、インターネットで見た情報も参考にしながら、家で試作して、献立に取り入れたり試行錯誤しています。豊かな食とは、高級料理ではないということを感じています。そして、やっぱり「おいしい」の一言がうれしいです。

二月のある日の献立

掲示した献立表を前に…

今日のごはん何?

ごはんが楽しみ!



豆腐ハンバーグ
豆腐に鶏挽肉やレモンなどの野菜を混ぜてフライパンで焼き、甘いあんかけをかける。

さつまいもサラダ
ヨーグルト、オリーブ油、レモン汁、塩、こしょうのドレッシング

なごのみみそ汁
「なごも」は今の時期にしか採れない粘り気のある海藻で、ビタミンやミネラルが豊富。血中コレステロールを下げる効果にも注目されている健康食品!

ごはん
佐渡産のお米です。

写真・イラスト:松田菜瑠美



写真右

温かいご飯を楽しく食べてもらいたいという、調理メンバーの「愛」がこもったご飯に、食堂から「おいしい」「ありがとう」の言葉がよく聞こえてくる。(写真:西田太郎)

写真左

鼓童村産の梅で、梅干しや梅酢などの仕込み中。(写真:洲崎純子)

気をつけていることは、大きくは五つあります。

- (1) 栄養のバランス
- (2) 品数豊富に、食卓の彩りを良く
- (3) 旬のものを食べる
- (4) 素材の味、味覚
- (5) 歯ごたえ、音、食感(例…柔らかいものと固いものの組み合わせ)

誰を基準に調理すればよいのか、味付けの標準設定が一番悩むところでした。例えば、塩分は、運動量の多い舞台メンバーとデスクワーク主体のスタッフでは、必要とする量が違ってきて当然です。年齢の幅も広がり多様化してきたメンバーの要求に、どのように対応していくかもこれからの課題の一つだと思います。

佐渡の四季を食卓に「食材調達」

▼大井キヨ子・食材調達や調理リーダーを担当、昨年の鼓童村の畑の収穫はアップし、保存食作りにも積極的にトライ。

鮮度抜群、炊きたて作りたてが食べられる鼓童の食事。最近では、鼓童村の畑で作った採りたての野菜が、たくさん食卓に並ぶようになりました。サラダ菜・パセリ・パジルは、食卓の彩りに活躍します。長ネギなど常備できる野菜が通年で収穫できたら良いと思います。

また、保存食は、旬でない時期でも食べられ、食材を豊かにしてくれる先人の知恵です。地元の方からたくさん頂いた食材を活用して、タケノコ(アクを抜いて冷凍)やワカメ(切って、小分けにして冷凍)などは、色々な調理方法でいただいています。

魚情報も敏感にキャッチし、週一回くらいは海産物の料理を献立に入れています。これまでは大人数向けにはなかなか作れなかったのです。

食材は、地元のお店の方に配達をお願いしています。注文配達は無駄を無くし計画的にできますが、一方では、店に行つて食材を見て値段を見て、季節感を感じながら買う社会性が失われていくというデメリットもあります。地域との関わり、自分の食材への感性をどのように磨くかは、これからは個人の努力に託されていくことになりそうです。

日常生活は舞台にもつながると、鼓童でもよく言われます。様々なことへの意識を高めて培っていったものは、見ているお客様にも伝わっていくものだと思います。佐渡は、四季を通じて海の幸、山の幸に恵まれています。この佐渡の四季の食材を栄養にして、舞台に立った時に佐渡の風景が感じられる表現ができるようになってくれたら素晴らしいと思います。

経済的に、効率的に「食当調整」

▼根岸俊昭・食当調整や食べる人数把握を担当、時には自ら台所に立ち、調理リーダーをつとめる。

「食べる表」というリストに一ヶ月のメンバーの予定を記入してもらっています。(食べる・食べない/食当ができる・できない)このリストにより、食当の調整ができます、食材発注が無駄なくできるようになりました。食べる人数をしっかり把握して調理するので、残り物がほとんどなくなりました。ツアー前の稽古期間の食当は、ス

タッフを中心にしています。可能な時期は舞台メンバーも加わってもらいます。

また、食生活管理部が発足してから、外部の方にもご協力をいただくようになり、他のスタッフの仕事の効率アップとなっています。舞台メンバーのパフォーマンスだけでなく、スタッフ業務も質の向上を目指していきたいです。

外部からの助っ人として現在、お二人が鼓童の食を支えてくださっています。

▼本間良恵さん「献立表は指示書であり挑戦状」という気合いで、調理メンバーとして大活躍。

▼長尾鈴恵さん「はじめは給食サイズの鍋などにびっくりで、味付けや水加減にドキドキ。今では家庭での料理のレパートリーも増えたそう。

取材を通して

これまでの食当は、皆平等に回ってくる試験のようなもので、時にはプレッシャーに感じることもありましたが。

今回、食生活管理部のスタッフの話から、それぞれの役割にやりがいを感じて臨んでいることを知りました。「鼓童村の畑の収穫を上げたい」「新しい献立を開発したい」「温かいうちに食べてもらいたい」など、前向きに取り組む様子を聞き、思っていた以上の大きい目標や工夫、メッセージが込められていることに驚きました。

これからは食べる側がどう受け取るか、問われているのかもしれない。食卓に注がれた愛情を受け止めて、それに応えていけるようになります。

今日も美味しくいただきます。

新井武志



「この前産まれたばかりだと思ったのに、えっ？もう大学生？ 早いもんだねえ〜」

これが、十九年という歳月。

舞台上に立って十九年、佐渡に来て二〇年。

乳児が大学生になる程の成長は無かったとしても、人として少しは成長できたかな。

一九九二年四月、佐渡に渡った。

太鼓に興味があつたわけではない。

前年末、ふらっと入った新宿シアターアプル。

舞台上の人達が楽しそうに見えた。いきいきしてた。

で、仲間に入りたと思った。

和太鼓に関する知識どころか

音楽に関する知識もほぼゼロに近かつた。

太鼓経験は小学生の時、地元でちよつとだけ。

当然憧れの太鼓打ちも目標とする太鼓打ちもいない。

ただ、仲間に入りたと思った。

研修所でひとつだけわかつたことがある。

太鼓は楽しい。

そんな自分がここまでやってこられたのは、

自分以外の「すべて」のおかげ。

すべてのひと。

支えてくれたスタッフ、先輩、後輩。

見守ってくれた家族。

公演に足を運んでくれたお客様。

そして何より応援してくださつたファンの皆様。

たびたび耳にした。

「武志さんて、結構隠れファンがいるんですよ」

隠れてたファンの皆様、ありがとうございます。

すべてのもの。



雨にも負けず、風にも負けず、日本中を一緒に走りまわつたトラック、バス。

未熟な技術、未熟な心を補つて余りある音を響かせてくれた太鼓やバチ達。

「まあまあ良い音出せるようになったんじゃないの。」なんて言ってもらえれば幸い。

そして佐渡のすべて。

海に慰められ、山に励まされ、風に癒され、

星に包まれ無になれる。

春にほころび、夏に解き放たれ、

秋に恵まれ、冬に戒められる。

ときどきたぬきにヒヤッときせられる。

朱鷺にはまだ出会えていない。

祭りにこころよく迎え入れてくれた小木町の若衆。

大切な仲間。

最近息子達が、友達同士で佐渡弁で話しているのを聞いて、少しは佐渡に根付けたかな、と感じる。

挙げればきりが無い「すべて」。

その「すべて」にただただ感謝。

さて、これから恩返しの旅に出るか。

裏から下から後ろから、

新たな一歩を踏み出した鼓童を支えながら。

引き続き皆様に支えられながら。

まだまだ叩ける、その体力を温存しつつ、

いざ、余力を残して次の「舞台」へ。

いざ、余力を残して次の「舞台」へ。

新井武志(あらいたけし) 1967年5月9日生まれ 埼玉県出身

1992年研修所入所、準メンバーを経て1993年10月より舞台メンバー。この4月で舞台生活に区切りをつけ、新たな仕事として舞台を支えるスタッフとして活動することとなった。舞台メンバーとしては、太鼓はじめ鳴り物など幅広く担当。(指笛は鼓童1だと思ふ…) しっかりベースを刻んで全体を見渡す役割を果たしてきた。「隠れファン」以外にも、意外に「男性ファン」も多く、舞台を降りるには惜しむ声も多い。

祭り好き。小木祭りでは「べたなぎ会」で神輿をかつぐ。翌日、日焼けたおでこ声がかれている(酒やけか?)あたりに祭男の片鱗がのぞく。

家庭では二人の男の子の父。佐渡にいる期間の日曜日には地元の少年サッカークラブで指導、監督もつとめるスポーツマン。

目立ちすぎずにいつでもそこにいる存在は、少し立場を変えて旅の生活を続けていきます。

KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(2月29日現在)

ワン・アース・ツアー ヨーロッパ

3/13 (火) オランダ・アムステルダム
Theater Carré
19:30開場 20:00開演

3/14 (水) オランダ・アペルドールン
Schouwburg & Congrescentrum
Orpheus
19:30開場 20:00開演

3/16 (金), 17 (土)
ベルギー・アントワープ
Elisabethzaal Antwerpen
19:15開場 20:00開演

3/19 (月) オランダ・ロッテルダム
Nieuwe Luxor
19:30開場 20:00開演

3/20 (火)
オランダ・アイントホーフェン
Muziekgebouw frits Philips
Eindhoven
19:45開場 20:15開演

3/22 (木), 23 (金)
ルクセンブルク・ルクセンブルク
Philharmonie Luxembourg
19:15開場 20:00開演

3/24 (土) ベルギー・オーステンデ
Kursaal Oostende
19:15開場 20:00開演

3/26 (月) ベルギー・ブリュッセル
BOZAR Brussels
19:15開場 20:00開演

小島千絵子 春一番 華の宴

3/18 (日) 青森市
春一番 華の宴 (はなのうたげ)
宗家石川流石川義衛生誕100周年記念
青森市文化会館 大ホール
12:00開演
前 指定席 2,000円 自由席 1,500円
内容: オープニングで15分(花八丈、西馬音内、ほか)
問) 坂本久男様
Tel. 090-4635-8354

鼓童小編成公演 佐渡

3/18 (日) 新潟県佐渡市
たたこ館まつり 第二部
旧・深浦小学校体育館
14:45開場 15:00開演(約1時間の公演)
大人 2,000円、小学生 1,000円、未就学児無料 指
入場整理券を当日 10:30よりたたこ館で配付します。
問) 佐渡太鼓体験交流館
Tel. 0259-86-2320

たたこ館まつり第一部は、3月18日(日)佐渡太鼓体験交流館にて10:00～14:30 入場無料
時の太鼓・芸能、フリーマーケット、小木三崎カフェ等

鼓童小編成公演 龍言 龍鼓の華やぎ

3/31 (土) 新潟県魚沼市 完売
龍言 龍鼓の華やぎ ～ハ海に 鼓響きて 龍舞う夜～
新潟県南魚沼市温泉御宿 龍言 大宴会場「無事庵の間」
上越線・ほくほく線「六日町」駅より徒歩20分、タクシー5分。上越新幹線「越後湯沢」駅よりタクシー30分。上越新幹線「浦佐」駅よりタクシー25分
18:30開場 19:00開演
(鼓童出演は19:00～20:00の予定。鼓童演奏中の飲食はご遠慮ください。)
出演: 鼓童(山口幹文、小島千絵子、齊藤栄一、見留知弘、新井武志、立石雷、小松崎正吾)
問: 龍言イベントデスク
Tel. 025-773-2222 (9:00～18:00)

鼓童 佐渡特別公演〈春〉

4/27 (金) - 5/6 (日)
新潟県佐渡市
宿根木公会堂(小木地区)
全9回公演(5/1(火)休演)
14:30開場 15:00開演 16:00終演予定
大人 3,500円
小人(4才～小学生) 1,500円
鼓童の会会員価格…大人 3,000円

小人 1,000円
当日定価の各 300円増 指
定員: 各回約 150名
チケット発売中
3才までの乳幼児は、無料でご入場いただけます。
問) 鼓童チケットサービス
Tel. 0259-86-2330(月～金/9:30～17:00)
たたこ館 Tel. 0259-86-2320
宿泊プラン・ツアーについては15ページをご覧ください。

ワン・アース・ツアー 伝説

5/12 (土) 東京都大田区
大田区民ホール・アプリコ大ホール
JR「蒲田」駅東口から徒歩約3分
17:45開場 18:30開演
前・当共 4,000円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 大田区民ホール・アプリコ
Tel. 03-5744-1600

5/16 (水) 東京都北区
北とぴあ さくらホール
JR「王子」駅北口から徒歩約2分。
東京メトロ南北線「王子」駅5番出口
18:00開場 18:30開演
前・当共 5,500円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) tvk チケットカウンター
Tel. 045-663-9999
鼓童 Tel. 0259-86-3630
車椅子席のご購入は(財)北区文化振興財団(Tel. 03-5390-1221)へお申し込みください。(数に限りがあります。)

5/19 (土) 埼玉県熊谷市
熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」
JR高崎線「籠原」駅南口より1km。
臨時無料バスあり(籠原駅南口⇄さくらめいと。公演前後に運行)車: 国道17号「自衛隊入口交差点」より2km。国道140号バイパス「武体西交差点」より2km。無料駐車場 400台
17:30開場 18:00開演
前・当共 S席 4,500円 A席 4,000円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可 託 有料、予約制。ことぶきキッズルーム Tel. 048-532-

(2月29日現在)

2916 受付 (月～金 10:00～16:00)
間) さくらめいとチケットセンター
Tel. 048-532-9090
車椅子席のご購入はさくらめいとチケット
センターへお申し込みください。

5/20 (日) 東京都千代田区

東京国際フォーラム ホール C
JR・東京メトロ「有楽町」駅より徒歩3
～5分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 S 席 (1F、2F、3F 前) 6,500
円 A 席 (3F 後方) 4,500 円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) 東京音協 Tel. 03-5774-3030

5/24 (木) 長野県長野市

ホクト文化ホール
JR「長野」駅から徒歩15分
18:00 開場 18:30 開演
S 席 5,000 円 A 席 4,500 円 B 席 3,500
円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) テス・カルチャーセンター
Tel. 026-223-8875

5/26 (土) 大阪府大阪狭山市

SAYAKA ホール (大)
南海高野線「大阪狭山市」駅より徒
歩3分
18:00 開場 18:30 開演
前 4,500 円 当 5,000 円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) SAYAKA ホール
Tel. 072-365-8700

5/28 (月) 和歌山県田辺市

紀南文化会館 大ホール
JRきのくに線「紀伊田辺」駅より徒
歩15分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 4,000 円 摺
3/16 (金) 発売
未就学児の入場は不可 託 1,000 円
間) 田辺市教育委員会 文化振興課
Tel. 0739-26-9943

5/30 (水) 愛知県額田郡幸田町

先
幸田町民会館
JR「幸田」駅より徒歩30分。岡崎イ
ンターより車で約20分
18:30 開場 19:00 開演

前 5,000 円 当 5,500 円 摺
4/8 (日) 発売
未就学児の入場は不可
間) 幸田町文化振興協会
Tel. 0564-63-1111

5/31 (木) 三重県四日市市

四日市市文化会館 第1ホール
近鉄名古屋線「四日市」駅徒歩10分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 S5,000 円 A4,000 円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可 託 公演の2
週間前まで予約、1人1,000円
間) 四日市市まちづくり振興事業団
Tel. 059-354-4501

6/1 (金) 京都府長岡京市

京都府長岡京記念文化会館
阪急京都線「長岡天神」駅下車、西
へ徒歩6分。JR東海道本線「長岡京」
駅下車、西口より阪急バス
18:00 開場 18:30 開演
前 S 席 4,500 円 A 席 4,000 円
当日は各 500 円増 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) 京都府長岡京記念文化会館
Tel. 075-955-5711
車椅子席のご購入は文化会館にお申し
込みください。

6/3 (日) 兵庫県神戸市

神戸国際会館こくさいホール
「三ノ宮」駅より徒歩5分

17:00 開場 17:30 開演
前・当共 5,500 円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) 神戸国際会館 Tel. 078-231-8162

6/4 (月) 大阪府摂津市 (予定)

摂津市民文化ホール
4/7 (土) 発売
間) 摂津市民文化ホール
Tel. 072-635-1404

6/7 (木) 香川県高松市

サンポートホール高松 大ホール
JR「高松」駅より徒歩1分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 4,500 円 摺
チケット発売中
未就学児の入場は不可
間) 岡山県音楽文化協会
Tel. 086-224-6066

6/8 (金) 高知県高知市 先

高知県立県民文化ホール
土佐電鉄市内線「県庁前」駅より徒
歩3分
18:00 開場 18:30 開演
前 5,000 円 ※学生 4,000 円 摺
当日 500 円増。学生 (小学生～大学
生) は定価で購入、公演当日に学生証
など年齢確認ができるものを持参すれば
1,000 円返金。
3/17 (土) 発売
未就学児の入場は不可
間) デューク Tel. 088-822-4488



ワン・アース・ツアー 2012
鼓童
— 伝説 —

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(2月29日現在)

6/10(日) 愛媛県八幡浜市 先

八幡浜市文化会館ゆめみかん
JR「八幡浜」駅より伊予鉄バスで30分(三島神社前下車) 徒歩3分。「八幡浜」駅より車で15分。松山より車で1時間30分
14:30 開場 15:00 開演
前1階指定席4,500円 2階学生席2,000円(自由席、中・高校生のみ)
当日は各500円増
4/8(日) 発売
未就学児の入場は不可
問) 八幡浜市文化会館ゆめみかん
Tel. 0894-36-3040

6/12(火) 岡山県津山市

津山文化センター
JR「津山」駅よりごんごバス9分。徒歩20分
18:30 開場 19:00 開演
前S席4,000円 A席3,500円 学生2,000円(A席のみ)
当S席4,500円 A席4,000円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可 託 要予約
問) 津山文化振興財団
Tel. 0868-24-0201

6/13(水) 岡山県高梁市 先

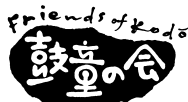
高梁総合文化会館
JR「備中高梁」駅下車徒歩約7分
18:00 開場 18:30 開演
前S席5,000円 A席4,000円
当日は各500円増 指
4/5(木) 発売
未就学児の入場は不可
問) 高梁総合文化会館
Tel. 0866-22-1040

鼓童の会

チケット先行予約のご案内

先 のマークがある公演については、一般前売りに先がけて鼓童の会会員の皆さまへ「先行予約」を行います。ご案内を同封しておりますので、ご確認ください。

この後も先行予約は決まり次第、随時ご案内いたします。



6/16(土) 岐阜県下呂市 先

下呂交流会館アクティブ 泉ホール
JR「下呂」駅から車で約7分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共4,000円
高校生以下3,000円 指
4/7(土) 発売
未就学児の入場は不可
問) 下呂交流会館 Tel. 0576-25-5000

ロレックス presents
打男 DADAN

特別協賛：日本ロレックス株式会社

7/2(月)-4(水) 東京都港区

赤坂 ACT シアター
東京メトロ千代田線「赤坂」駅徒歩1分
2日 18:30 開場 19:00 開演
3,4日 13:30 開場 14:00 開演
前・当共S7,500円 A5,500円 指
3/24(土) 10:00～発売
未就学児の入場は不可
問) 打男首都圏チケットセンター
Tel. 0570-00-3117
(平日10:00～18:00) ※発売日は営業

7/7(土), 8(日)

神奈川県横浜市

KAAT 神奈川芸術劇場
みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩5分。JR・横浜市営地下鉄「関内」駅徒歩15分
7日 17:30 開場 18:00 開演
8日 13:30 開場 14:00 開演
前・当共S7,500円 A5,500円 指
3/24(土) 10:00～発売
未就学児の入場は不可
問) 打男首都圏チケットセンター
Tel. 0570-00-3117
(平日10:00～18:00) ※発売日は営業

7/10(火) 愛知県名古屋市 先

中京大学文化市民会館 オーロラホール
地下鉄名城線「金山」駅から徒歩1分。
JR中央本線・東海道本線・名鉄本線「金山」駅から徒歩5分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共S6,500円 A5,500円 B4,500円 指
5/7(月) 発売
未就学児の入場は不可
問) 中日劇場 Tel. 052-263-7171

7/14(土)-16(月・祝)

熊本県山鹿市 先

八千代座
JR「玉名」駅より山鹿行産交バス利用40分/直通バス:博多駅筑紫口11:00→八千代座12:45/八千代座17:00→博多駅19:00 頃着予定
13:00 開場 14:00 開演
前・当共S席7,500円 A席5,500円 指
3/30(金) 発売予定
未就学児の入場は不可
問) 八千代座公演事務局
Tel. 0968-43-0202

7/20(金)-22(日)

京都府京都市 先

南座
京阪電鉄「祇園四条」駅よりすぐ。阪急電鉄「河原町」駅徒歩3分
13:30 開場 14:00 開演
前・当共一等7,500円 二等5,500円 指
5/20(日) 発売
未就学児の入場は不可
問) チケットホン松竹
Tel. 0570-000-489

鼓童&タイコース・イン・コンサート
オーストラリア

9/22(土) オーストラリア首都特別地域、キャンベラ

4月発売予定
詳細未定

9/24(月) ビクトリア州メルボルン

Hamer Hall, Arts Centre Melbourne
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. 1300 182 183

9/26(水) ニュー・サウス・ウェールズ州ニューカッスル

Civic Theatre Newcastle
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. (02) 4929 1977

9/27(木), 9/28(金)

ニューサウスウェールズ州シドニー
4月発売予定
詳細未定

春のソロ・小編成公演



藤本容子
(写真:Karen Steains)



小島千絵子
(写真:宮川舞子)

鼓童 交流公演

できるだけ近い距離で、和太鼓の魅力をお届けしたいという熱いメッセージからなる「交流公演」。トクを挟みながら大人から子どもまでお楽しみいただける特別プログラムです。鼓童の公演をメインに、鼓童のワークショップを受けた「粕屋太鼓ガイアの響」の皆さんの発表があります。

小島千絵子の世界 ゆきあひ〜清姫〜

「道成寺もの」としてよく知られる安珍清姫の物語を題材に、舞踊と太鼓、弦の響きと笛の音に衣ずれの、幾重にも綾に織りなす錦の舞台。

千絵子自ら演出を手掛けた待望の佐渡公演、この機会をお見逃しなく、是非ご来場ください。

藤本吉利 ゲスト出演

「第4回 浜松太鼓祭2012 太鼓尊塾 Produce」
太鼓がいざなう人と音のつながりをテーマに、「太鼓尊塾」が静岡県浜松市で二〇〇八年より開催している太鼓祭に、藤本吉利がゲスト出演します。他のゲストの方や幼稚園・小学生、大人も含めた太鼓尊塾の皆さんと一緒に盛り上げます。

藤本容子ソロコンサート「花のうてなに」

容子自身も主催のみなさまも、待ちに待ったソロ活動。
コンサートは2部構成で、1部は貸し切り。2部が

左記の時間帯で行われ、小学生以上の一般入場が可能です。詳細は、壬生寺保育園にお問合せください。

春のソロ・小編成公演

鼓童 交流公演

日時:5月12日(土) 18:00開場、18:30開演
会場:サンレイクかすや・さくらホール(福岡県糟屋郡粕屋町 駕与丁1丁目6-1 / 篠栗線「長者原」駅より徒歩10分)
出演:鼓童、粕屋太鼓 ガイアの響(ワークショップ発表)
料金:前売・当日共 大人 3,500円、小人(4歳~中学生) 2,500円(税込) / 全席自由
※4歳未満のお子様のご入場はご遠慮願います。
発売開始:3月6日(火)より発売中
チケット取扱い:サンレイクかすや Tel. 092-931-3309
粕屋太鼓・久我 Tel. 092-939-0001 (自宅)
Tel. 090-1976-7923 (携帯)
問:和太鼓タートル Tel. 0948-29-2560 (月~金 10:00 ~ 19:00)
サンレイクかすや Tel. 092-931-3309

小島千絵子の世界 ゆきあひ ~清姫~

日時:5月16日(水) 18:00開場、18:30開演
場所:アミューズメント佐渡 はまなすホール
出演:小島千絵子(踊り、太鼓)、木村俊介(篠笛、三味線、音楽監督)、池上真吾(箏)、西田ひろみ(バイオリン)、池田安友子(パーカッション)、西野貴人(和太鼓)
衣装デザイン:時広真吾
料金:前売 一般3,000円、学生(小・中・高) 2,000円
当日各300円増し / 全席自由
未就学児の入場はご遠慮ください。
発売開始:3月15日(木)
チケット取扱い:鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330
協力:ジャズダンススタジオPAL、Cafe一葉

藤本吉利 ゲスト出演

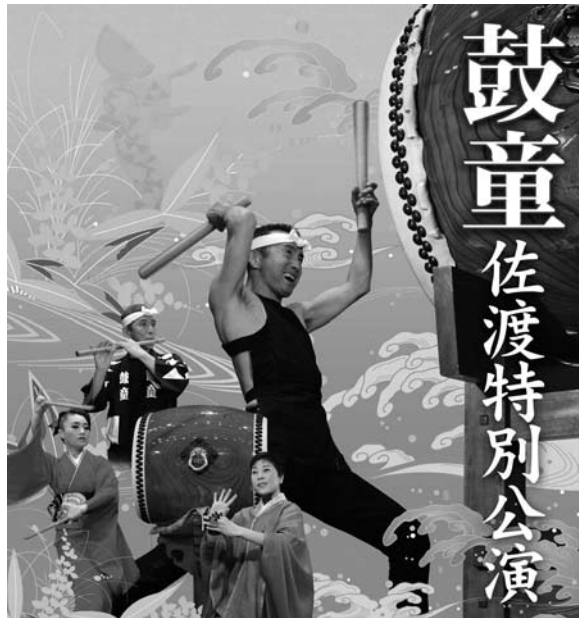
「第4回 浜松太鼓祭2012 太鼓尊塾 Produce」

日時:5月19日(土) 17:30開場、18:00開演
場所:浜松市福祉交流センター(静岡県浜松市)
出演:藤本吉利(鼓童)、三宅島芸能同志会、加藤拓三、立川志の吉、太鼓尊塾(一心・鼓雪・son-go-ku^)
料金:前売2,500円、当日2,800円
3歳以上有料 / 全席自由
発売開始:3月3日(土)より発売中
問・チケット取扱い:エンボス Tel. 053-412-1010

藤本容子ソロコンサート「花のうてなに」

日時:5月20日(日)
14:10開場、14:30開演、15:30終演(予定)
場所:壬生寺保育園 2Fホール(栃木県壬生町)
料金:1,500円
問:壬生寺保育園 Tel. 0282-82-0811
お問い合わせ期間:4月2日(月) ~ 4月17日(火)(土、日を除く)
9:00~17:00の間でお願いします。

「鼓童 佐渡特別公演」 宿泊プラン・ツアー



鼓童 佐渡特別公演

4月に始まる「鼓童 佐渡特別公演」と公演・宿泊・観光をセットにしたツアーが首都圏および新潟の旅行会社によって企画されています。観光コース、旅館、宿泊数など個性豊かなラインナップ。ご希望に合うツアーを見つけてください。最新情報は鼓童サイトに随時掲載いたします。詳細・お申し込みは左記の各問い合せ先へどうぞ。

チケットのみご希望の場合は、鼓童チケットサービスで取り扱っています。

「鼓童 佐渡特別公演」宿泊プラン・ツアー

【東京発】

- 2泊3日 佐渡に2泊して公演鑑賞(5/4以外)と佐渡名所巡り(コース番号M7566-5)
問:JTB旅物語販売センター Tel. 03-6902-5555
- 2泊3日 佐渡に2泊して公演鑑賞(4/28、29、30、5/2、3、4)と佐渡名所巡り
問:阪急交通社 Tel. 03-6745-1300
- 2泊3日 佐渡と新潟に各1泊して公演鑑賞(4/27)と佐渡・新潟周遊
問:三越 日本橋本店トラベルセンター Tel. 03-3274-5272
- 2泊3日 佐渡に2泊して公演鑑賞(4/27)と佐渡名所巡り
問:JTB伊勢丹トラベル Tel. 03-5368-3411
- 1泊2日 佐渡に1泊して公演鑑賞(5/2または5/6)と佐渡名所巡り
問:朝日旅行東京支店(国内) Tel. 03-5777-6688

【新潟発】

- 日帰り 公演鑑賞(4/30)と宿根木散策
問:新潟日報旅行センター Tel. 025-222-1777

「鼓童 佐渡特別公演」チケット+宿泊プラン

公演会場に近い宿と公演チケットのセット
問:佐渡太鼓体験交流館 Tel. 0259-86-2320

「鼓童」佐渡特別公演鑑賞と宿根木まちなみ散策

宿根木散策と公演チケットのセット
問:佐渡観光協会 Tel. 0259-27-5000

CD「鼓童 暁 KODO Akatsuki」



CD「鼓童 暁 KODO Akatsuki」

価格:2,900円(税込)
鼓童の会会員価格:2,600円(税込)
3月中旬入荷予定。
「鼓童 暁 結成30周年スペシャルアルバム〜初回限定版CD+DVD」3,300円(税込)

鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630 (販売部)

鼓童結成30周年を記念して昨年1月にリリースしたアルバム「暁」を、CDのみでお求めになれます。便利な「鼓童オンラインストア」をご利用ください。 <http://kodor.jp/store/>

尚、「鼓童 暁 結成30周年スペシャルアルバム」初回限定版(CD+DVD)もしばらくの間は販売いたします。

鼓童支援会の特典の変更にについて

「支援会」の特典に「公演への招待」が加わりました。ご入会をご検討いただける方は、鼓童の会事務局までお問い合わせください。

鼓童支援会の新規会員募集

入会金:無料/年会費:5万円
会員期間:1年間(12月に更新いただきます)
特典:後援会の特典(月刊「鼓童」のお届け、オリジナルグッズの割引、先行予約、年1回プレゼント(柿など)をお届け、など)に加えて、「年次報告書」へのお名前の掲載、懇談会等への参加、鼓童が指定した公演へ年間1枚のご招待券を差し上げます。
問:鼓童の会事務局
Tel. 0259-81-4100 担当・山口康子

鼓童賛助会、新規会員を引き続き募集中

新年号のご案内いたしました「賛助会(定員350名)」の新規ご入会を引き続き受付中です。詳しくは、鼓童の会事務局までお問い合わせください。

鼓童チケットサービスより

チケット先行予約を今月号でも行います。同封のご案内をご覧ください。

今月の付録

- ◎ワンテラスツアー「〇二」伝説
- ◎打男公演会員先行予約
- ◎鼓童かわら版(佐渡島内のみ)

◆ 第33回松尾芸能賞<邦楽優秀賞>受賞 ◆

このたび財団法人松尾芸能振興財団より、日本の文化・芸能の保存、向上に寄与した芸能関係者に贈られる「松尾芸能賞」の邦楽優秀賞に選ばれました。なお、今年の実績はすでに周知のことであるが、この30年の芸の積み重ねは、音楽を身体性と生命力の渾然一体となって祝祭性を横溢させ、表現は見事なパフォーマンスに結実させ出色のものとなった。」

【大賞】三谷幸喜氏(脚本家)

【優秀賞】白石加代子氏(俳優)、安奈淳氏(俳優)、

千昌夫氏(歌手)、国本武春氏(浪曲)、鼓童(邦楽)

【新人賞】中村勘九郎氏(歌舞伎)、清元栄吉氏(清元三味線)

鼓童の受賞理由は、下記のように紹介されています。
 「太鼓芸能集団鼓童の『ワン・アース・ツアー 2011～結成30

周年スペシャル』公演は、北から南まで44都道府県70回におよび、各地の太鼓ファンを熱狂させた。鼓童の国内外における実績はすでに周知のことであるが、この30年の芸の積み重ねは、音楽を身体性と生命力の渾然一体となって祝祭性を横溢させ、表現は見事なパフォーマンスに結実させ出色のものとなった。」

■松尾芸能賞

日本の伝統ある劇場芸能を助成・振興し、日本独自の文化、芸能の保存及び向上に寄与することを目的に、財団法人松尾芸能振興財団が芸能関係者に与える昭和54年に創設された芸能賞。 <http://matsuo-e.net/>

◆ 中田英寿氏公式サイトで研修所紹介 ◆

昨年11月、元サッカー日本代表の中田英寿氏が鼓童文化財団研修所に来所され、このたび公式サイト「nakata.net」で紹介されました。中田氏は、日本文化をより多くの人に知ってもらおうきっかけをつくり、文化の継承・発展を促すことを目的に「ReVALUE NIPPON (リバリューニッポン)」というプロジェクトを立ち上げ日本全国各地を取材されています。各地の工芸、食、芸能などを紹介するシリーズで現在、新潟県が取り上げられています。公式携帯サイト(有料)では映像も配信されています。

■佐渡島で育まれる音「太鼓芸能集団 鼓童」

<http://nakata.net/rnp/area/2002/>

鼓童文化財団研修所では、次代を担う幅広い人材を募集しています。共同生活の中で佐渡の自然や文化に触れながら、一年目は表現の土台をつくり、二年目は鼓童の舞台メンバー・スタッフを目指し実践的な力を養います。

■鼓童文化財団研修所について

鼓童サイトでは、研修所パンフレットや本誌で特集した研修所記事をお読みいただけます。

<http://www.kodo.or.jp/apprentice/>

2013年度研修生募集開始時期:10月1日

お問い合わせ ※お問い合わせはメールでお願いします。

担当:石原 Email: kenshujo@kodo.or.jp

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼佐渡に来て住居棟に住んで丸五年。次々と先輩達が自活を始め、今年、とうとう私が寮で一番の年配者になってしまいました。巣立つ準備を企てつつ、残りの時間を、一緒に住んでいる後輩と共有しながら大切に暮らしています。しかしまずは、借りる家を見つけねば！(溜)

▼先日スタッフを志望する研修生に自分の体験談を話す機会がありました。贅沢な研修所の時間や佐渡に来て十年間の月日は、その時は精一杯やってきたと感じましたが、まだまだだな思うところばかりです。でも、不器用な私は、その時の精一杯を続けていくことしかできないのかな。(み)

▼先日、北上市の芸能公演で、久々に岩崎鬼剣舞を拝見。笛や太鼓や踊りにのせた、寒い冬に圧縮された皆さんの心の発露。ペテランの囃子方たちに見守られながら、若い踊り手が確かな芸を継ぎつつあり、会場の人達から温かい応援の拍手を受けている様子に、とても心が満たされて帰ってきました。その岩崎の方々を追ったドキュメンタリー『究竟の地 岩崎鬼剣舞の一年』(監督…三宅流)が東京のポレポレ東中野で、三月二四日(土)まで上映されています。人と芸能が渾然一体となった風土が、魅力的に映し出されている素晴らしい映画です。藤本吉利と石原泰彦が教えを受けているシーンも少しだけ登場します。ぜひ、近くにお住まいの皆様にご覧いただきたいと思います。(倫)

▼今朝家を出たときの陽射しはとても力強く、春が近いことを思わせてくれました。雪の多い冬でしたが、寒さが厳しければ厳しいほど開放感もひとしおです。ぴりっとした澄んだ空気の中で、大きな深呼吸が心置きなくできる春がみんなのものときますように！(美)